


ふりがな 氏名	わたなべ としき	都道府県	神奈川県	
	渡辺 人生			
所属/肩書	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都市大学環境学部環境マネジメント学科 ・昔の遊びを伝える会 			
私のESD活動	「人に寄り添うこと」を軸に活動。昭和の昔遊びを通じて物の豊かさではなく、心の豊かさを育む			

活動の概要

私は、日本で昔から親しまれている伝統的な遊びを通じて地域の子供たちやお年寄り、学生たちと、ともに笑い、ともに楽しみながら活動しております。

私が所属している「昔の遊びを伝える会」というボランティア団体は昭和4年築の蔵まえギャラリーの建物や公園などで、地域の子供たちとけん玉や紙飛行機(折り紙)、ぶんぶんゴマなどの昔の遊びを伝承していくイベントを通して触れ合い、昔の遊びの楽しさやたくさん仲間と、遊びを共有する楽しさを提案しています。

また、とにかく子どもと遊ぶことが大好きで、活動するときには子どもと一緒に遊びを通して手を動かし体を動かしています。具体的には、子供たちに3種類もの型の違った紙飛行機と一緒に折り、誰が一番より遠くに飛ばせるか、ずっと飛んでいられるかなど競争もさせていただきました。そして、それを見ているお父さんやお母さんも手を伸ばし、一緒に遊び始めるときには、世代の壁など感じることなく、同じ目線で楽しんでいました。

親指の動きだけのゲーム機や携帯では得ることのできない、体全体を使う喜びを日々共有できることは、他にない幸せなことだと自負しております。

そしてこの環境こそがイノベーティブ(先駆的)な取り組みであり、その結果、便利なものやことをただ追求するのではなく、今あるものや目の前にいる“人”を大切に、幸せになるのではなく、幸せに気付くことができいております。

〇「昔の遊びを伝える会 Facebook」 <https://www.facebook.com/mukashinoasobi/>

今後の活動や協働への展望

私は、ESD日本ユース・コンファレンスへの参加を通して、自分なりのより良い未来をつくるESD活動を確立させていきたいです。私は教育とは、共育であると考えています。自分とは異なる他者からただ知識や技術を教えていただく、教えるのではなく、ともに一緒になってより良いものに成長させ、持続可能な社会を実現させていくことこそ私の考えるより良い未来をつくるESD活動です。この活動を発展させていくために、“知識”と“経験”を積みみます。具体的には、今現在学んでいることに加え、ESD日本ユース・コンファレンスでの人の輪を活かし、一つの面からだけでなく様々な側面から物事を判断して情報を発信できるようにする。人と人とを繋ぎ、幅広いコミュニティを創り出す。そして、物の豊かさではなく、心の豊かさを高めたいけるように発展させていこうと考えています。

また、ESD日本ユースの一員として、率先して社会を変えながら、社会を変えていくリーダーとして協働していきます。より良い未来のために様々な壁にぶつかったとしても、最後まであきらめず試行錯誤を繰り返し、同志(ESD日本ユースの方々含めたESD実践者)のアドバイスに素直に傾聴し、尽力していきます。さらに、これに加え、教員や研究者のみならず、NPO/NGO、行政、自治体、企業、メディア、学生など、様々な立場の方々を体験や感動、そして心豊かな人生へ導いていきます。